

平成 21 年度 全国胡蝶蘭部門埼玉代表者会議 報告書

平成 21 年 9 月 4・5 日と埼玉県の一部部門員の皆様のご協力を得てさいたま市にて開催いたしました。景気が厳しく又忙しい中、各県代表と役員により胡蝶蘭部門の運営・研究・研修等の活動の方針を議論し又洋らん部会部会長・東支部長のご出席も頂き厳しい経済下だからこそ組織の必要性、各個人の参画の重要性をお話頂きました。

下記にて議事報告をさせていただきます。

記

日時：平成 21 年 9 月 4 日 13：00 より開催

開催地：埼玉県 大宮地区

大宮ソニックシティ 9 階研修室（埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5）

※来賓挨拶 本庄農林振興センター 副所長兼農業支援部長 丸岡隆男様

埼玉県は洋ラン生産高では日本第三位の位置づけであること。

埼玉県の農業状況としては消費意識が食生活の安全から低価格品へ変化し輸入農産物が増加しているためリーマンショックによる影響が一農家までおよんでいる。又市場法の改正・規制の緩和により市場の勝敗が明確化してきている。

しかし、ピンチの中のチャンスであり販売への取組みなどにて洋ランの普及・促進をめざして欲しい。

社団法人 日本花き生産協会洋らん部会 近藤部会長

花き消費の指数として一世帯当りの切花購入額は平成 9 年の 13,130 円をピークに平成 20 年度は 10,327 円と 21%減、花き粗生産額もピーク時より 24%減この 10 年間で 2 割以上も減少する深刻な状態になっている。世界同時不況の中さらに激しい落ち込みが予測される。

このように深刻化する花き産業のために生産者・卸売業者・買参者等の関係機関により花き消費拡大検討委員会が今年発足された。1/1000 構想による PR 活動を含め国民に「潤いと安らぎ」を与える花き産業の発展のため取組む事になる。

皆さんの協力と尚一層の日々の生産努力をお願いしたいとの事です。

※会議

<議題>

1. 第 5 回胡蝶蘭部門千葉研修会について

平成 21 年 11 月 11 日（水）～12 日（木）

2. 日本・台湾・胡蝶蘭生産者意見交換会（千葉研修会内）について

上記 1・2 は研修会実行委員長の椎名様より説明がありました。

成田ビューホテル(千葉県成田市)にて 12：30 より開催

「どうする！日本の胡蝶蘭」と題して生産者・市場・販売店より 6 名の方々にてパネルディスカッションを行い会場も含め今後の胡蝶蘭業界の展望、又生産者の羅針盤となる会合を執り行ないたい。

日本の胡蝶蘭市場にとって台湾よりの協力が不可欠となった今、日本のマーケット状況や品質確保のための栽培技術（温度試験、等）において意見を交換し交流を深めたく考えている。

千葉研修会を成功させるためにも 250 名の参加を目標に計画しているの
で胡蝶蘭部門員の枠を超えて多くの参加をいただきたい。

各県の代表には持ち帰り一人でも多くの参加を呼びかけ動員いただきた
いとの依頼がありました。

又、12 日の視察には国際フラワーEXPO (IFEX) も組入れ皆様の経営の
発展へと繋いで欲しいとのことです。

3. HPのリニューアルと運用について

尾崎担当役員副部門長より以下の説明がなされご意見、ご理解をいただきました。

TOP ページの改正

社団法人 日本花き生産協会
洋らん部会 胡蝶蘭部門

バナー広告募集中
A

・HOME ・消費者の方へ ・市場・販売店の方へ ・生産者の方へ ・バナー広告について ・お問い合わせ

洋らん部会 胡蝶蘭部門が運営するHPです。

部門の規約
部門長挨拶
役員紹介
会議の報告
事業の報告
部門員名簿
リンク
お問い合わせ先

バナー広告募集中
B-1

バナー広告募集中
B-2

バナー広告募集中
B-3

NEWS

・2009/00/00
サイトリニューアル
・2009/00/00
テスト

掲示板

失敗例の掲示板

病害虫専用掲示板

Copyright (C)Kotyouranbumon All rights reserved.

胡蝶蘭部門HPのリニューアルと運用についての考え

1. 今後のコンセプト

“胡蝶蘭のマーケット拡大に向けての情報発信ホームページ”

今までは主に部門員向けの情報発信などでしたが今後は今まで同様に部門員への情報発信＋
胡蝶蘭のマーケット拡大のため販売店（消費者）などに向けて情報発信していきます。

2. 新ホームページの概要

- 1) 部門の規約・・・部門の規約を載せます
- 2) 部門長挨拶・・・部門長挨拶を載せます
- 3) 役員紹介・・・役員紹介と一言を載せます
- 4) 会議の報告・・・総会、代表者会議、研修会報告、日本・台湾胡蝶蘭生産者意見交換会などの報
告と案内を記載します
- 5) 事業の報告

調査研究事業について

- ① 温度試験（温度試験実施1年目のまとめ、温度試験実施状況の報告、花茎抑制試験の報告）
- ② 肥料試験（肥料試験実施状況の報告）
- ③ 花ふけ・黄斑症調査（花ふけについての調査報告、花ふけについての調査報告その2、花ふけ・黄斑症の緊急調査票、黄斑症の研究委託についての報告）
- ④ 生産状況調査（胡蝶蘭生産状況実態調査結果）

6) 部門員名簿

- ① 部門員紹介・・・県別の区分にて代表者名、園名を記載

* 希望があればTEL、FAX、HPアドレス（リンク）、メールアドレス、生産品目、コメントを載せる

- ② 部門員メーリングリスト登録への申し込み案内について

7) リンク

- ・ 農林水産省種苗登録情報ページ
- ・ 特許庁商標登録情報ページ

* その他追加は役員にて受付、役員にて協議後記載していきます。

8) TOP ページ

- ① 病虫害専用掲示板
- ② 失敗例掲示板
- ③ 業者（苗、資材など）の方【生産者が仕入れようとした際に利用】
市場、資材、施設、種苗などの販売会社の情報、連絡先を載せ有料（年間）にてリンクさせる。
（賛助会員に限定）
- ④ 小売店（花屋・ネットショップ）の方【末端消費者が胡蝶蘭を買う場合利用】
 - ・ 簡単な胡蝶蘭の育て方など胡蝶蘭について記載
 - ・ 胡蝶蘭を販売している全国の販売店に記載依頼して店名、連絡先など記載しリンクさせて記載料を年間1万円程度頂く。
- ⑤ TOP にバナー広告を張るスペースを作りそこを年間3～5万円で販売する。
 - A （TOP バナー横）
 - B-1～3 （TOP 左下バナー）

* 販売店、生産者、市場問わず記載可能！

9) お問い合わせ先

- ① 事務局
- ② ホームページ担当

3. 記載料有料化の目的

- ・ 今まで部門内にHP担当がいてHPの追加・更新をしてきましたが担当者選考に限られるため今後どこかで壁に当たる恐れのあるため、今後、部門内部にテクニカルスタッフを設ける事によりスムーズに追加・更新していくための年間費用の捻出準備。
- ・ また、今後の部門活動資金にも運用ができればと考えます。

以上の説明がされ、部門活動資金については今後胡蝶蘭部門員からの個人徴収も考えるべきではとの意見もありました。

部門として今後益々の胡蝶蘭の普及に努め、研究等の課題も多く活発な部門活動を要求されています。資金面での対策は必要と考えます。

4. 調査研究事業

● 温度処理試験

北谷副部門長より愛知農業総合試験場での花芽抑制試験区が下記のように発表されました。

2009 花茎発生抑制試験計画

09.8.26 愛知農総試 小川先生より

(1)試験区

| | 温度 | 施肥管理 |
|---|---------------------------|------------------------|
| ① | 31°C(6hr.)28°C(6hr.)/25°C | 慣行 |
| ② | 31°C(3hr.)28°C(9hr.)/25°C | 慣行 |
| ③ | 28°C(12hr.)/18°C | 慣行 |
| ④ | 28°C(12hr.)/18°C | NH4(アンモニヤ態) 120~140ppm |
| ⑤ | 28°C(12hr.)/18°C | NH4(アンモニヤ態) 200ppm 前後 |
| ⑥ | 25/18°C | 慣行 |

(2)供試品種、供試株数

| | | | |
|-------|-------|--------|------------|
| アマビリス | 98 株 | ①②③④ | 各区 24-25 株 |
| V3 | 187 株 | ①②③④⑤⑥ | 各区 31-32 株 |

(3)試験開始 2009.10 月下旬～

(4)試験区についてのコメント

- ・①②は夜温 25°Cの時、昼温 31°Cの時間の検討
- ・温室の制限により、昼温は 3 試験区しか設定できない。
- ・③の昼温 28°C区については夜温 25°Cにしても、花茎発生することが過去の試験から推測されるので、18°Cにして NH4(アンモニヤ)態窒素により抑制できるかどうかという試験区を設定しました。施肥管理の具体的内容については試験が始まる前に市橋先生に相談する予定です。
- ⑥25/18°C については、抑制試験を依頼された初めの年に、この区をとらなかつたら、他区で全て花茎発生が 0% となり、試験の意味がなくなってしまう経験があります。
- 今回は③28/18°Cで花茎が発生することがわかってはいますが、適切な条件で 100% 近く花茎発生し得る株を供試材料として用いていることを証明するために、⑥区を設定してあります。

また、アマビリスについては③区で、ほぼ 100%花茎発生すること、株数が少ないことから⑥は除きました。

小川先生より⑥区は確実に 100%花茎を発生させるため③区より 3°C低い 25°Cで昼温を設定してあります。適切な条件で 100%近く花茎発生し得る株を供試材料として用いていることを証明するためご理解下さい。とのコメントを会議の後頂いています。

● 花ふけ調査研究

今年度事業研究調査として徳永担当役員より香川大学深井先生による花老けの因果関係研究と再現試験の連絡がありました。再現圃場として稲田農園様のご協力を得ることの報告がありました。

まずは先日アンケート調査による花老け現状調査の報告

花老け調査 調査結果

回答数 30

1.花老けの病状

| | ①全体老け | ②部分老け | ③両方 | 花老け無し |
|-----|-------|-------|-----|-------|
| 回答数 | 2 | 18 | 6 | 4 |

2.花老けの原因

| | ①ウイルス | ②肥料濃度 | ③乾き | ④強光 | ⑤根傷み |
|-----|---------|-----------------------------|-----|-----|------|
| 回答数 | 17 | 5 | 7 | 2 | 6 |
| | ⑥クローン変異 | ⑦生理障害 | ⑧樹齢 | | |
| | 11 | 10 | 3 | | |
| | ⑨その他 | | | | |
| | 5 | (・ダニ<2>・温度変化・複数のウイルスの影響<2>) | | | |

3.微量要素剤の散布などで花老けは減りましたか

| ①減った | ②減らない | ③回答無し |
|------|-------|-------|
| 4 | 9 | 17 |

4.開花時期(季節)で花老けの病状は変わりますか

| ①変わる | ②変わらない |
|------|--------|
| 16 | 12 |

5.県内で出荷量のうち何%くらいの生産者にどれくらいの%で花老けがでていますか

| ①県全体の出荷量 | ②全体老け | ③部分老け |
|----------|-------|-------|
| 0~20% | 0~15% | 0~20% |

出席部門員より全体老けと部分老けは原因が別のもと考えられ、全体老けは以前よりは少なくなっているが部分老けは相変わらず大きな問題であるためまずは部分老けに集中して解決を急ぐべきではとの意見があり全員の意見が一致しました。

花老けの再現試験として原因研究をどの様な手順で深井先生に調査いただくかの徳永担当役員と今井さん稲田さん岡田にて10月に香川大学へ訪問し深井先生と打ち合わせをすることになりました。

5. 切花研修会について

引き続き徳永担当役員より一昨年より海外からの品質の高い胡蝶蘭が入荷されている、国内胡蝶蘭切花生産者をもっと危機感を持って対処する必要があるとベトナムからのサンプル商品を見せて海外の品質の高さを説明した。気候も適性した地域で栽培され国家事業としてのバックアップもあり現在日本への出荷量は約300,000本/年で生産量の約70%を日本向けに出荷している。近々に総生産量を600,000本さらには将来1,000,000本まで生産する計画とのことです。営業面でもニーズを十分に研究した展開を行なっています。

ベトナムだけではなく台湾・中国からの輸入も多く、国内の生産者として

危機感を持ち今後如何に経営を展開すべきか議論を行ないたいと報告がありました。

部門として希望者を募りベトナムへ視察に行く必要が有るのではとの意見も出ました。

6. 洋らん部会よりの報告

全国洋らん生産者大会（徳島）の案内

平成22年6月9日～10日にて開催いたします。

平成21年度全国花き品評会洋らん部門の案内

日時：11月19日（木） 搬入

20日（金） 審査

21日（土） 販売

場所：(株)フラワーオークションジャパン（FAJ）

7. 次回胡蝶蘭部門研修会の開催について

発足以来、生産者の多い地域を開催地として順に実施してきましたが全国洋らん生産者大会も含め生産者の多いほとんどの地域での開催は実施されなかったかと思えます。今後も持ち回りの順番制で行うとなると生産者の少ない地域での開催となり今までのような内容や規模では開催地の生産者への負担が大きくなり不可能だと思えます。又、私たちを取り巻く景気の状態も厳しく引き受けていただけない地域が無いのが現状です。

今後できるだけ多くの地域で開催していただけるように規模的には少し縮小しても内容の濃い研修会を考え提案させていただきます。

開催地として複数県の集合体である近畿洋蘭振興会にて大阪でとを考えます。

テーマは大阪という販売や消費の現場を生かし生産者一人一人が市場や買参人(花屋)と意見を直接交換し販売の現場を知り生産の現場を説明できる場が必要かと思えます。時間と費用の面では当日の意見交換会を基本とし懇親会、宿泊や翌日のスケジュール（視察等）はフリーが望ましく思います。もちろん視察の受入れ態勢は整えさせていただきます。

以上、会議出席者の同意を得て平成23年度に近畿(大阪)での開催を計画いたします。

8. その他

◆ 消費者で飾られた胡蝶蘭の花が散った後の処理への取り組み

お祝等で沢山の胡蝶蘭（鉢花）が飾られ綺麗に咲いている間は良が枯れた後の処理が産業廃棄物となり問題になっている。消費者の胡蝶蘭離れを防ぐためにも何らかの対策が必要なのは。

一例として尾崎副部門長から自社では不要となった鉢花を送ってもらうサービスを行なっている、現在は月平均約50鉢程度送られてくるが苗は利用できる範囲で再度開花させて一部は地元地域への貢献に利用、又鉢や支柱はほとんどを再利用している。まずは一人一人が取り組むことが必要との説明がなされた。

◆ 連絡業務の簡素化と一方通行にならない組織のコミュニケーションのため

部門メールの活用をお願いしたいと事務局より報告がありました。

役員だけが活動している組織では意味がございません。皆さんの参加が無ければ如何なることも無意味に終わることでしょう。ご協力をお願いいたします。

ます。

◆ 新規の課題の応募

部門メール等にて常時受け付けています。ご意見をお寄せください。

◆ 会計よりの報告

福田会計担当役員より現在のところ特別な処置はないとの報告がありました。

※ 日本花き生産協会洋らん部会活動報告

東日本支部長 茂木敏彦様

我々の花き業界はここ数年厳しい経営を余儀なくされています。

世界的景気低迷による急激な消費の縮小、そして農業資材・重油等の高騰で経営が圧迫されています、また市場法改正により手数料の見直し等の市場環境も大きく変化しています。

洋らん部会では次の項目について私たち生産現場の声として関係機関および上部組織に理解と行動を図るべき活動し、消費低迷の打破、消費者への宣伝活動、新たな市場ルール作り等、業界が一丸となり花き業界の再生と発展のため取り組んでいます。

1. 市場取引内容の明確化

- 売上傳票に買参人番号や取引内容（予約相対・相対・セリ）を明記
- 商品のトラブル（クレーム）について責任の所在のルールを作る
- 相対取引の価格設定について生産者・市場・買参人で統一のルールを作る

2. 市場法改正による手数料の見直し

- 予約相対・相対・セリと取引方法により手数料割合を見直す
- 買参人からも手数料を徴収できる制度を導入し市場運営の強化を図る

3. 花き業界活性化対策（花きPR活動）

生産者・市場・買参人で均等に出資できる 1000 分の 1 構想を早急に構築し、花き広告宣伝活動を積極的に推進

4. 受託契約書の作成

市場倒産時に個人出荷の生産者の保護のため生産者協会が統一の契約書を作成し会員トラブルを回避する。

（全農や経済連などの組織とは契約書を締結し倒産時の保障が謳われている）

5. 農事用電力の利用範囲拡大

電気料金が安価な灌漑のみの農事電力をヒートポンプ等の利用による農業の環境配慮を背景に農事電力を農業全体が利用できるように要望
最後に我々洋らん部会の責任の位置付けとして 2008 年花き卸売市場調査によれば切花・鉢物の総額の 10%を洋らんが担っている、その洋らんの中で胡蝶蘭は約 40%を鉢物だけでは 60%を担っている。

業界の中で大きな使命が我々にはあると部門員意識の必要を一喝された。

※ 午後 5 時 00 分 会議を終了

出席者名簿

来賓

本庄農林振興センター副所長兼農業支援部長 丸岡隆男様
本庄農林振興センター農業支援部技術普及担当 小磯由美様
洋らん部会 部会長 近藤邦浩様
洋らん部会 東日本支部長 茂木敏彦様

胡蝶蘭部門員 25名

岡田茂 北谷隆信 尾崎幹憲 福田和之 徳永憲昭 楳山彬彦 椎名正剛 武田洋一
黒澤達也 斉藤崇存 鈴木和幸 稲田直樹 重富輝明 小島卓巳 松村秀彦 芦澤雅宏
中島善弘 丹羽正裕 川口正 二宮輝彦 今井満 矢作豊 榎本茂 真子径徳 斉藤正美

※ 懇親会

午後6時より多くのメンバーの参加をいただき楳山顧問の挨拶で幕が開きました。
若手から年頭まで揃い業界への期待・経営の模索・個人的な悩みの相談まで深く広く話
しが盛り上がりました。

椎名顧問の挨拶で締めとなり懇親会を終えました。

9月5日 視 察 午前9:00 出発

Aコース 黒臼洋蘭園、大野オーキッド、国分寺洋蘭園

Bコース 森田洋蘭園、大沢洋蘭園、武田洋蘭園

ベーシックかつクリエイティブな経営の模範となる視察先に恵まれました。

参加された方からは多くを学び刺激を受け、明日からの躍進に繋げていただけるとの
事でした。

正午をもって二日間にわたる代表者会議の日程を無事終了いたしました。

最後になりましたが、武田県代表を初め埼玉の皆様には大変お世話になりありがとうございました。

以上

全国洋蘭部会胡蝶蘭部門
部門長 岡田 茂